競　技　注　意　事　項

１　競技規則について

本競技会は２０２０年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本競技会要項及び競技注意事項（本注意事項）により実施する。

２　競技者の事前準備

本競技会に参加する競技者は、事前に大会ガイドラインとなる「大会参加にあたって」を確認し、下記の準備をしておくこと。

（１）　江東区陸上競技協会ホームページ(https://koto-tf.wixsite.com/koto-tf)より、**「大会出場同意書」**と**「体調管理チェックシート」**をダウンロードし記入をしておくこと。その際に、**検温については、競技会出場当日を含む８日間の検温結果を必ず記入**すること。
※「大会出場同意書」は、小・中・高校生のみ提出すること

（２）　当日は、ビブス（胸・背中用２枚、腰用１枚）、マスク、個人用シート、個人用タオル、ゴミ袋、ＡＤカード入れ用首掛けホルダー、筆記具を持参すること。

３　競技場の入場及び競技者受付について

（１）　競技場の入場口はメインスタンド正面入口横のＥ階段、出口はD階段のみとする。

（２）　開門時刻は８時１５分とする。ＴＩＣでの受付開始時刻は７時４５分からとする。
※開門前に来場した競技者及びその指導者・引率者は、ソーシャルディスタンスを保って開場を待つこと。

（３）　競技者は入場の際に、手指消毒を行う。検温は自宅で済まし、「体調管理シート」に記入しておくこと。

（４）　競技者はＴＩＣ（メインスタンド外側、駐輪場付近に設置）にて、事前に記入した「保護者同意書」と「体調管理チェックシート」を提出し、ＡＤカード・行動確認票を受け取る。

（５）　プログラムに記載ミス（氏名、学年、所属等）があった場合には、競技開始の１時間３０分前までにＴＩＣへ申し出ること。なお、プログラムの記載事項は、申し込みの際に送信されたデータをそのまま使用している。

（６）　各自の競技（ウォームアップ）開始時刻に合わせて来場し、競技場に長く滞在しないようにすること。

（７）　今大会ではＡＤカードの回収は行わない。競技が終了したら速やかに帰宅すること。

４　練習について

（１）　練習は競技場内で行うことができる。競技役員の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で行うこと。ただし、競技運営上、練習を制限することがある。練習中は各々が事故防止に万全を期すこと。

（２）　競技場内（競技区域内）に入場できるのは、練習の際についても本競技会に参加する競技者のみとし、指導者・引率者等の立ち入りは認めない。

（３）　競技区域内での練習は、本競技会に参加する競技者に限定する。（競技区域内で練習する際は、競技者用ＡＤカードを身につけること）

（４）　練習を競技区域内で行う際には、メインスタンド横の階段を利用すること。競技区域への入場はフィニッシュ側、退場は１００ｍスタート側のみとする。

（５）　周回レースが行われていない時間帯については、バックストレートを開放する。

（６）　ハードルの設置については、以下のとおりとする。

男子	高校・一般 110mH	８：３０～９：４０	ホームストレート８レーン
	中学 110mH	８：３０～９：４０	ホームストレート７レーン
女子	一般 100mH	８：３０～９：４０	ホームストレート６レーン
	中学 100mH	８：３０～９：４０	ホームストレート４・５レーン

（７）　走幅跳の足合わせは、競技会開始前にピットの準備ができ次第使用を認める。また、10:00～11:00、12:40～13:20 の間はバックストレートでの練習を認める。フィールド競技の練習は競技役員の指示に従って、招集完了後に各々の競技場所で行う。

（８）　練習に必要な用器具は主催者が準備する。個人で持ち込んだ用具を使用して練習場所を占有することを禁止する。

５　欠場について

本競技会を欠場する際は、本人または引率者・顧問を通じて、競技開始時刻の９０分前までに招集係（招集所：１００ｍスタート地点後方）に申し出ること。

６　招集について

（**1**）　招集は、**現地招集**とする。**ただしリレーのみ１００ｍスタート地点後方にて４名そろって招集をおこなう。**

（２）　招集において、競技者は必ずマスクを着用すること。

（３）　各競技の招集開始時刻・招集完了時刻、リレーオーダー用紙の提出締切時刻は、タイムテーブルに記載のとおりとする。なお、リレーオーダー用紙は、ＴＩＣに準備しているものを使用し、１部を作成しＴＩＣへ提出すること。

（４）　招集の方法

①　招集開始時刻に競技場所にて競技者係の点呼を受けること。その際、アスリートビブス（旧ナンバーカード）・腰ナンバー標識（トラック競技のみ）のチェックを行う。

②　ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、ＣＤ、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。

③　代理人による点呼は認めず、招集完了時刻を超えた場合は当該種目を棄権したものとして処理する。

７　アスリートビブスについて

（１）　アスリートビブスは、事前に発表されたスタートリストを確認し、各自で作成すること。サイズは２０ｃｍ×２４ｃｍを標準とする。色は白地に黒字（２ｃｍ）で作成すること。

（２）　胸と腰に確実に固定すること。（跳躍競技については、胸または背部のどちらか一方でよい。）

（３）　トラック競技に出場する競技者は、スタートリストを確認して腰ナンバー標識（１枚）を各自で作成し、右腰やや後方につけること。（リレー競技は、アンカーのみつける）サイズは１８ｃｍ×１２ｃｍを標準とする。色は白地に黒字（２ｃｍ）で作成すること。

８　競技区域への入場について

（１）　競技区域への入退場はすべて競技役員の指示・誘導に従うこと。

（２）　スタート地点または競技場所へ移動する際は、必ずマスクを着用すること。

（３）　トラック競技・フィールド競技とも、競技エリアへの入場はフィニッシュ側階段、競技エリアからの退場は１００ｍスタート地点側階段を使用すること。

９　競技及び競技方法について

（１）　トラック競技

①　トラック競技の計時はすべて写真判定装置を使用する。

②　レーン順はプログラム記載順どおりとする。

③　不正スタートをした競技者は失格とする。

【注意】不適切行為に関する国内適用が廃止されたので、以下の点に注意すること。

1.　不適切行為（速やかに構えない、「セット」で静止しない、ピクつく等）をした競技者へは、イエローカードを提示し審判長が警告を与える ※グリーンカードではない。

2.　競技会の中で２度の警告が与えられた場合は、レッドカードを提示され競技会から除外される ※競技会を通しての累積である

3.　リレー競技において除外処分を受けた場合、当該競技は失格となるが、個人種目への出場は妨げられない。

④　短距離走・ハードル走・リレーにおいて、スターティングブロックの使用を義務づける。ただし、小学生と中学１年生はこの限りではない。

⑤　短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。

⑥　リレーで使用するマーカーは各団体で用意し、レース終了後は必ずはがすこと。

⑦　ハードル競技は、以下の規格で行う。

種目		高さ	1台目までの距離	ハードル間の距離	台数
男子	高校・一般 110mH	1.067m	13.72m	9.14m	10 台
	中学共通 110mH	0.914m	13.72m	9.14m	10 台
女子	高校・一般 100mH	0.838m	13.00m	8.50m	10 台
	中学共通 100mH	0.762m	13.00m	8.00m	10 台

（２）　フィールド競技

①　跳躍種目の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを２個まで置くことができる。

②　投てき用具は、以下の規格を用いる。

種目		重さ
男子	一般	7.260kg
	高校	6.000kg
	中学共通	5.000kg
女子	高校一般	4.000kg
	中学共通	2.721kg

（３）　抗議について

競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が電光掲示版に発表されてから１５分以内に、顧問またはそれに準ずる立場の者がＴＩＣに申し出ること。審判長が再度検証し、担当総務員を通じて裁定を伝える。

（４）　助力

①　競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出なければならない。

②　競技中に競技場内のスタンド下ダッグアウトから助言（指導）を行うことは禁止する。メインスタンド２列目まで、芝生スタンドの区画された範囲をコーチングエリアとする。

③　フィールド種目に出場している競技者に対して競技区域外（スタンド）にいる競技者が録画した映像を見せることは助力にはならないが、競技区域外（スタンド）から見せることに限定され、録画した機材（スマートフォン・ビデオカメラ等）を競技区域内にいる競技者が手に持って見た場合は助力とみなす。

１０　用器具について

競技用具は、主催者が用意したものに限る。

１１　競技用靴について

スパイクピンの長さは９ｍｍ以内とし、いずれの場合もスパイクピンの数は１１本以内とする。

１２　表彰について

各種目１位～８位に入賞したものに賞状を授与する。競技終了後ＴＩＣに取りに行くこと。

１３　製造会社のロゴ、ブランド名、デザインマークのついた衣類やバッグ類等について

競技場に製造会社のロゴ、ブランド名、デザインマークのついた衣類やバッグ類等を持ち込む場合、「競技会における広告および展示物に関する規定」を遵守すること。

１４　新型コロナウイルス感染拡大防止にともなう注意

（１）　競技者及び来場者に関して

①　来場にあたっては、３つの密（密閉、密集、密接）を避け、参加競技者及び引率者（引率顧問、保護

者引率の場合は保護者可）のみで来場すること。

② 競技者及び引率者は競技会当日を含め８日間の検温を実施し、指定の「大会出場同意書」「体調管理チェックシート」に記載し、受付時に提出すること。チェックシート提出と引き換えに競技者及び引率者にはＡＤカード・行動確認票を発行する。チェックシートを提出しない競技者及び引率者については、原則として来場及び参加を認めない。

③ 入場口及び退場口は限定されており、入場の際には必ずＡＤカードを提示すること。ＡＤカードのない者は入場できない。

④ 競技は無観客で行う。ＡＤカードを発行された関係者は入場できるが、引率者は競技者が練習・競技を行うときのみ、スタンドの指定された場所で観戦することができる。

⑤ 以下の事項に該当する場合は、来場を見合わせること。

・体調がよくない場合（例．発熱（37.0℃以上は再検）、咳、咽頭痛などの症状がある場合）。

⑥ 以下の事項に該当する場合は、来場及び参加を認めない。

・当日の体温が 37.5℃以上あり、強い倦怠感と息苦しさがある場合。

・同居家族や身近な知人が感染している、または感染が疑われる状態にある場合。

・過去１４日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。

⑦ 競技会終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対し濃厚接触者の有無等について報告すること。

（２） 来場及び競技の参加にあたって

① 参加者は競技のウォーミングアップ開始に合わせて来場し、競技終了後速やかに帰宅すること。

② 来場にあたっては、マスク・マイタオルを持参し、運動時を除いては原則としてマスクを着用すること。

③ 石けんを用いた手洗い・手指消毒、うがい、洗顔を励行する。

④ 声を出しての応援、集団での応援は行わない。

⑤ ウォーミングアップ・招集等については、競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。

⑥ 競技用具使用後は手洗いまたは手指消毒を行うこと。

⑦ 飲食等の際は感染リスクが高くなるため、短時間・ソーシャルディスタンス・換気の良い場所で行うこと。なお、スタンドでの食事は禁止とする。（水分補給、飲料の摂取は可）

⑧ 飛沫拡散を防ぐため、応援や大声・近距離での会話を避けること。

⑨ タオル、ペットボトル、コップ、皿、袋等の共用を控え、個人用を用意すること。また、ゴミは各自で持ち帰ること。

１５ その他

（１） ２０２０年度の日本陸上競技連盟競技規則修改正点について、特に注意すること。

（２） 競技中の応援・助言（指導）は、競技場内のスタンドからのみ行うことができる。

（３） 競技中の事故については主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。

（４） 主催者で預かった物品については一時保管するが、その他の盗難および紛失に関しては一切責任を負わない。

（５） 盗難防止のため、荷物は各自で責任もって管理すること。

（６） 記録はその都度、アナウンスおよび電光掲示板で発表する。

（７） 届けられた遺失物については、ＴＩＣで保管する。保管期間は競技終了時までとする。